



2018年10月11日

TSUBASAアライアンス参加行によるシンジケートローンの組成について
～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年9月25日（火）、株式会社あしたのチーム（代表取締役会長 高橋 恭介）に対し、「TSUBASAアライアンス」※に参加する地方銀行4行によるシンジケートローンを組成しました。

株式会社あしたのチームは、おもに中小・ベンチャー企業向けに人事評価制度の導入や運用を支援する人事関連クラウドサービスを展開しています。全国47都道府県に営業拠点があり、これまで1,500社以上にサービスの導入実績があります。

同社の事業が拡大するなかで、機動的な資金調達枠を確保し、地域の中堅・中小企業を主要な顧客基盤とする地方銀行との取引も広げたいというニーズに対し、当行がアレンジャーとなり、「TSUBASAアライアンス」を活用して新規行を中心とするシンジケート団を結成しました。

本シンジケートローン及び株式会社あしたのチームの概要は下記のとおりです。

記

【シンジケートローン概要】

アレンジャー	千葉銀行
参加行	千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、東邦銀行
契約締結日	2018年9月25日（火）
組成総額	7億円
貸出形態	コミットメントライン

【株式会社あしたのチームの概要】

所在地	東京都中央区銀座6丁目10-1
代表者	代表取締役会長 高橋 恭介
業種	人事評価クラウド業
資本金	4億1,010万円（資本準備金含む）
設立年月	2008年9月

※千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

以上